

2021年7月2日

2021年度第3回日本臨床環境医学会理事会議事録

日時：2021年7月2日（金）16：30～17：55

場所：ZOOMによるリモート開催

議長：木村理事長

出席者：理事15名中委任状1通（吉田理事）、欠席者3名（石竹理事、高野理事、野崎理事）、

オブザーバー：池田顧問、北條名誉会員

挙手などのチェックに加藤、川上両評議員も参加

木村穰（理事長）、関根嘉香（第29回学術集会会長）、柳宇（第30回学術集会会長）理事の挨拶後、鈴木幸男理事、角田正史理事がすでに退会されたことが事務局より報告された。

議題

報告事項

1. 事業報告

Covid-19感染拡大により、第29回学術集会の順延（現在開催中）、学会誌の2020年度発刊遅延、昨年度の理事会で承認された日本学術会議協力学術研究団体の申請遅延、事務委託の遅延等があったが分科会はそれぞれ活発な活動が展開されたことが報告された。

2. 会員数報告

現在約250名。昨年度8名入会も幽霊会員を整理中。

3. 編集委員会報告（代理：木村総務担当理事）委員変更、学会誌内容など

角田編集委員長、鈴木編集委員の退任に伴い、鍵直樹理事、佐藤勉理事、東賢一理事を加え、森千里理事を新編集委員長候補に選出した。石竹理事、吉田理事には引き続き委員をお願いするので、委員は計6名となる。2020年度は2021.3.31発刊の29(1)のみ。今後29(2)及び2021年度の順調な発刊を目指す。学術著作権協会への「臨床環境医学」電子版の委託終了。学術集会抄録集などについては検討中。

4. 2020年度分科会活動報告について

環境アレルギー分科会、環境過敏症分科会、病院・高齢者施設環境分科会の2020年度活動報告が会計報告を含め、それぞれ平理事及び後者2分科会については事務局から行われた（通信状況不良及び授業中のため）。

5. 学会HP管理について

現在UMIN配下のHPとして川上評議員がアルバイターを利用して運用中。昨年度管理をお願いしたアルバイターからの移行がほぼ完了したところ。

6. 日本学術会議協力団体への申請について

機関誌を年一回継続して発行などの条件を満たす必要があり、登録申請が

遅延。会員整理が済み次第申請予定。

審議事項

1. 理事長の改選について
互選の結果、坂部貢東海大学医学部教授が第7代理事長として1年間の任期の条件で選出され、承認された（会則上は2年任期）。
2. 執行部体制について
会則にしたがって新たに編集担当理事に木村理事が任命され、編集委員長に森理事が指名された。また監事は山田高也会員の退会を機に新たに清野正子会員に委嘱予定で承認され、2021年度会計監査を担当することが決定した。
3. 分科会申請について
分科会内規では設置期間は2年となっていることから、現在の3分科会に継続申込書を提出いただいた。これに基づき環境アレルギー分科会、環境過敏症分科会、病院・高齢者施設環境分科会の今後2年間の活動計画が、それぞれ平理事及び後者2分科会については事務局から行われた（通信状況不良及び授業中のため）。なお環境過敏症分科会の活動計画については一部修正が指摘され、また会計については水越評議員が室内環境学会の分科会を調整をとりながら担当する予定であることが報告された。
4. 2020年度・2021年度の年会費の扱いについて
2020年度はCovid-19の影響もあって学術集会が順延となったことや「臨床環境医学」の発刊もなかったことから、特例として2021年度分も含んでの年会費とする（従来の年会費を2020年度・2021年度に限り2年度分に読み替える）ことが承認された。なお、2020年度も繰越金が増額。
5. 2020年度会計報告について
資料に基づき2020年度会計報告が坂部財務担当理事より行われた。事務局転記ミスは資料修正することが確認された。
6. 2020年度会計監査について
例年に従い、2020年度事務局経費、分科会活動費、本会収支について山田監事の会計監査が行われ、その報告書が示され、承認された。
7. 2021年度予算（案）について
坂部財務担当理事より2021年度予算案が提示され、承認された。上記4により、100万円の赤字予算となっている。
8. 2021年度次々期会長の選出について
昨年度の理事会で東賢一理事が選出されていたが、学術集会が順延となっていたこともあり、再確認された。
9. 「臨床環境医学」投稿規定の改訂等について
投稿規定のうち、誌面へのメールアドレスの記載等についての改訂、また目次の著者名（連名）の表記法改訂について、承認された
10. 事務局の業務委託について
学会支援機構の再見積の結果が示され（会員数減少により減額）、委託の話を引き続き進めることが承認された。

1 1. 今後の企画について（学会活性化など）

学会活性化などについていくらか意見交換を行った。今後、若手会員を活性化するための研究奨励金なども含め、ワーキンググループを発足させることで了解が得られた。

以上